

目次

第1部 マスコミの原発報道に異議あり 1

原発立地を難しくしているマスコミの報道姿勢 2

—新潟県・巻町に見る「マスコミの在り方」とは—

「国益優先」がマスコミ報道の基本でなければならない 23

情報化社会における「人の在り方」の模索 43

第2部 「原発」に過剰反応する、日本的な、あまりにも日本的なメンタリテイ 65

—昭和五十六年四月、高知県・窪川町で起きた「初のリコール運動」とは—

蘇った「原発」町長 66

第3部 無資源国フランスの見識は「日本の手本」である……………103

―父と娘が訪ねるフランスのエネルギー教育の今―

原発問題は「教育問題」である……………104

フランスのエネルギー教育は「知性を持った大衆」の育成に主眼……………125

バランス感覚のあるエネルギー教育の必要性……………147

原発を知ることが現代人の義務……………168

原発について無知である事は許されない……………190

第4部 マスコミのJCO臨界事故報道は「冷静」だった?!……………213

あとがき……………232